

令和6年第3回議会定例会における行政概要報告書
(令和6年5月18日から令和6年8月21日まで)

1 平和祈念 長崎原爆被災写真パネル展の開催について

8月2日から8月21日まで、市立図書館及び市役所本庁舎1階ロビーにおいて、幅広い世代のかたに戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えるため「平和祈念 長崎原爆被災写真パネル展」を開催しました。また、平和教育の一助とすべく、市内小中学生にチラシを配布し、周知を図るとともに、8月19日から21日までの3日間、市遺族会の協力を得て被爆証言映像の上映等も行いました。

2 いばチャリin那珂vol. 2の開催について

5月26日、市中央公民館を発着点として、市の魅力発信及び自転車活用の推進を図るため、株式会社LuckyFM茨城放送との共催による2回目の「いばチャリin那珂」を開催しました。県内外から約130人が参加し、市内約40kmのコースを茨城放送の人気パーソナリティと一緒に走りました。また、エイドステーションでは、市特産品を堪能していただくとともに、お土産として、水戸農業高等学校のジャムや市特産ブランド認証品等を提供し那珂市をPRしました。

3 ふるさとづくり寄付に係る取り組みについて

ふるさと納税事業について、寄付の受付、寄付者情報の管理、返礼品の発注・配送管理、返礼品の新規開拓及び情報発信等ふるさと納税に関するスキルやノウハウを持った中間支援事業者の見直しを公募型プロポーザルにより実施しました。プレゼンテーション審査の結果、7月17日にサンクスラボ株式会社と契約を締結し、9月1日から運用を開始することになりました。

この中間支援事業者の見直しに伴い、8月6日、ふれあいセンターすがやにおいて、返礼品提供事業者を対象とした説明会を実施し、サンクスラボ株式会社からサポート内容の説明と併せ、「返礼品を魅力的に見せるためのポイント」に関するセミナーが行われました。今後、返礼品提供事業者との協力体制を構築し、寄付額の拡大を目指してまいります。

4 那珂市建設業者表彰式の開催について

8月2日に開催した那珂市建設業者表彰式において、市が発注した令和5年度の完成工事92件のうち、優良な工事を完成させた株式会社^{あさかわけんせつ}浅川建設、株式会社^{ひらのさんぎょう}平野産業の2社の建設業者に加え、当該優良工事の施工を担当した各社の技術者に対し、市長から表彰状を贈呈しました。

5 那珂市給付金コールセンターの開設について

6月17日、給付金に関する一般的な質問や相談に対応するため、専用コールセンターを開設しました。主な給付金には、物価高騰による負担増を踏まえ、令和6年分所得税と令和6年度住民税所得割の定額減税が行われることに伴い、定額減税しきれないと見込まれるかたに対して減税しきれなかった額を支給する給付金（調整給付）がありま

す。対象者には、7月26日付けで通知しており、給付は8月下旬以降に順次進める予定です。

6 市防災訓練の実施について

6月19日、風水害を想定した防災訓練を市民及び関係機関の参加により実施しました。当日は、台風の接近に伴う大雨により久慈川、那珂川、大井川及び早戸川の氾濫の危険性が高まっているという想定のもと、逃げ遅れをなくすためのマイ・タイムラインによる避難行動の確認を目的として、災害対策本部運営、避難情報の発信及び市内の浸水想定区域、土砂災害警戒区域内の7地区31自治会の住民参加による避難訓練等を行いました。また、避難行動要支援者の避難支援を想定した福祉避難所開設訓練を行いました。

7 多文化共生セミナーについて

5月19日、ふれあいセンターよこぼりにおいて、茨城台湾総会会長の^{たがわりさ}田川莉紗さんを講師に迎え、「你好！台湾」と題した多文化共生セミナーを開催しました。市に所縁のある「飛虎將軍」の話を交えながら、参加者からの質問形式で進行し、台湾の文化を学ぶことができました。

8 男女共同参画啓発講演会について

6月1日、ふれあいセンターよこぼりにおいて、NPO法人茨城県防災士会^{しばた}の柴田^{みちこ}美智子さんを講師に迎え、男女共同参画啓発講演会を開催しました。「女性の声を防災へ！」と題して、災害時の衣食住にまつわる必需品や、女性ならではの困りごとやその対処法等を学ぶことができました。

9 ふれあいセンターすがやの開館について

6月6日、新たな市民活動拠点となるコミュニティセンターの「ふれあいセンターすがや」が供用開始となりました。これに先立ち、6月2日に開館記念式典を開催し、地権者や協力者、工事施工者に感謝状を贈呈したほか、市議会議員や地元自治会関係者の立ち合いのもと、セレモニーを実施しました。

10 国際親善姉妹都市との交流について

7月1日から8日までの8日間、中学生交換交流事業として、国際親善姉妹都市のアメリカ合衆国テネシー州のオークリッジ市から中学生7人、引率者2人が那珂市を訪れました。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から交流事業が中止となっていました。今年度から本事業を再開し、ホームステイや各種体験のプログラムを通して、日本文化に触れたほか、市内小中学校や高校での学校体験等、幅広い世代との交流も深めました。

また、8月19日から29日までの11日間、市内中学生7人、引率者2人がオークリッジ市を訪問し、ホームステイを体験しました。滞在中は、アメリカの文化や日本との教育環境の違いを学び、最先端技術や大自然にも触れ、様々なプログラムを体験しました。さらに、8月21日から24日までの4日間、市長もオークリッジ市を訪問しま

した。ウォーレン・L・グーチオークリッジ市長を表敬訪問し、来年那珂市で開催予定の35周年記念式典や今後の交流の在り方について話し合うなど、実りある訪問となりました。

11 放課後学童保育所運營業務に係る委託事業者の選定について

公立放課後学童保育所の運営について、公募を行い、市放課後児童健全育成事業委託事業者選定委員会におけるプレゼンテーション等の審査の結果、株式会社アンフィニと7月1日に契約を締結し、10月1日から運営を開始することになりました。

12 那珂市地域包括支援センターナザレ園の事務所移転について

8月16日、那珂市地域包括支援センターナザレ園において、那珂市門部4040-2（旧白河内サロン）に事務所を移転しました。

13 地域計画地域座談会の開催について

6月27日、市内8地区において、令和4年度に作成した人・農地プランの「地域の農業の在り方」に、10年後の農地の耕作者を示した目標地図を加えて作成する地域計画について協議の場を設置し、市内全域での地域計画作成に向け、農業委員、農地利用最適化委員、担い手農家、農業関係団体、地域の関係者等の参加によりワークショップによる座談会を開催しました。

14 那珂市保幼小中連携事業について

ひまわり幼稚園と他の幼児教育施設との合同による、小学校訪問を6月に実施しました。異なる園に通う園児同士が交流しながら授業等を体験することで、小学校入学への円滑な接続を促します。

7月12日、かしま台保育園において、本年度第1回目の保幼小中連携協議会を開催しました。委員や小中学校の教職員が保育の様子を視察し、保幼小中連携のより一層の推進に向けて情報交換を行いました。また、7月30日から8月1日までの3日間、同園において、小学校教員による保育体験を実施し、幼児への関わり方について学びました。

15 那珂市イマージョンスクールについて

7月24日から25日までの2日間、中央公民館において、「那珂市イマージョンスクール」を開催しました。市内小学校の3年生から6年生まで延べ48人が参加し、ALTと一緒に楽しみながら、道案内やスーパーマーケットでの買い物、飛行機の中での注文等、英語でのコミュニケーションに挑戦しました。

16 那珂市部活動地域移行について

7月30日、本市における中学校部活動の地域移行を推進するため、瓜連支所分庁舎において、那珂市部活動地域移行推進協議会を立ち上げ、第1回目の会議を開催しました。委員として、スポーツ又は文化活動の関係者や保護者、学校長会の代表15人を委嘱しました。会議では、本市の地域移行の在り方を示したロードマップとなる「那珂市

部活動地域移行推進計画」の案について協議検討しました。また、9月に野球部の部活動地域移行をモデル事業として開始するため、移行先となる「軟式野球教室NBFJ」を地域クラブとして承認しました。

17 公民館講座ライフカレッジについて

5月18日と7月17日の2日間、中央公民館において、「公民館講座ライフカレッジ」を開催しました。受講者は、発声とアンチエイジング効果やシニア世代の生活充実について学びました。

18 ふるさと教室開級式及び第1回教室について

6月23日、なかLuckyFM公園アリーナにおいて、「ふるさと教室開級式及び第1回教室」を開催しました。那珂市スポーツ推進委員を講師に迎え、親子43組が子どもから高齢者まで誰もが気軽に楽しむことができるドッジビー、オーバルボールなどのニュースポーツを体験しました。

19 家庭教育学級第1回合同学習会について

7月4日、総合センターらぼーるにおいて、「家庭教育学級第1回合同学習会」を開催しました。学校法人大成学園茨城女子短期大学^{もりいえいじ}こども学科専任講師の森井榮治氏を講師に迎え、「自己肯定感って何だろう？」をテーマに講演会を実施し、93人が参加しました。

20 消防業務について

火災出場件数については3件、救急出場件数については713件となっております。事業所や学校等を対象として、消防訓練指導を68回行い、3,252人が参加し、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。また、応急手当普及のため救命講習会等を28回行い、463人が修了しました。

5月26日、常陸太田市栗原町地先久慈川左岸河川敷において、那珂市、常陸太田市、日立市、常陸大宮市、東海村の4市1村により毎年実施されている久慈川水系連合水防訓練を実施しました。国土交通省をはじめ、県土木部関係機関の協力のもと、土のうごしらえ、積土のう、月の輪等の工法訓練及び照明車、排水ポンプ車の取扱い訓練に約300人が参加しました。

令和6年9月2日

那珂市長 **先崎 光**